



# 玉川通信

学校だより NO 8  
平成 29 年 10 月 31 日  
昭島市立玉川小学校  
校長 稲垣 達也



## 継続は力 ～家庭学習のススメ～

副校長 大友 基裕

朝夕、空気がひんやりとする季節となつてまいりました。校庭の木々も少しずつ色づき始め、秋の深まりを感じます。

さて、9月30日（土）に行われた「第107回運動会」には、保護者の方々を始め、多くの地域、関係の方々にご来校いただきました。また、17日（火）と20日（金）の学校公開では、日頃の教育活動の様子をご覧いただく中で、教科の学習に加え、3年生の外国語活動や4年生の下水道キャラバンによる体験的な活動も見ていただきました。

ご参観いただき、ありがとうございます。ご意見、ご感想につきましてはアンケートにお書きください。

「読書の秋」といわれるように、秋は何か新しいことにチャレンジしたり、集中して取り組んだりする良い機会です。

学習への取り組み方についても考え直す良い機会です。そこで、今回は家庭学習について考えてみたいと思います。全国学力・学習状況調査や児童・生徒の学力向上を図るための調査からも明らかですが、学力と家庭学習の習慣化には密接な関係があることがわかっています。

玉川小では、家庭学習のねらいを次のようにとらえています。

1. 「学ぶ力」を育てる
2. 家庭を「学び」の環境にする

そして、家庭学習で行うこととして、大きく以下の2つがあります。

1. 宿題（取り組む必要のある課題）
2. 自主学習（自分で見つけた課題）

昔から宿題に良いイメージをもっている人は多くはないかもしれません。宿題に取り組めない理由としては「塾や習い事が忙しい。」や「やろうとしてもわからない。」等があげられます。

しかし、学校が宿題に取り組ませる理由は大きく以下の通りです。

1. 学校で勉強したことを身に付ける
2. 毎日机に向かう習慣を身に付ける

特に、「毎日机に向かう習慣を身に付ける」ことは、「一日の生活時間を自分で管理する」力や「決められた時間集中する」力、「決められたことを守り、責任を果たす」力につながります。これらの力は、これから中学生や高校生、大人になってから必要な力となってきます。まさに、続けることが力となる「継続は力」そのものだと思います。

本校では、11月に「宿題計画表」という週ごとの学習予定表に取り組みます。この取組は、先の見通しをもたせ、自己を律する力を身に付けさせることを目的としています。今後、主体的な学習のための計画表へと発展していけば良いと考えております。ご家庭でのご理解、ご協力をお願いします。

## 運動会

担当：浅川 晴香

### スローガン 『全力・協力・あきらめない 最高の運動会！』



天気にも恵まれ、運動会を無事に終了することができました。

子供たちは、運動会のために日々練習に励んできました。当日は、今までの練習の成果を全て出し切ろうと、一生懸命競技や表現に臨んでいました。

特に表現演技はどの学年もとても力を入れていました。低学年はポンポンを持ってかわいらしく踊りました。中学年は、大旗を振って迫力のある演技をしました。高学年の組体操は、動きをきれいに合わせ、声を掛け合いながら、真剣に取り組む姿が印象的でした。

保護者の皆様におかれましては、お子様の体調管理や道具の準備、当日の片付けなどたくさんのご協力に大変感謝いたします。今後ともご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

## 3年生 社会科見学

担当：山田 一樹・原 綾萌

### ○マミーマート探検

10月3日（火）にマミーマートへ行き、スーパーマーケットの販売の工夫やお店の良さを調査してきました。事前学習では、普段利用しているスーパーマーケットの良さについて自らの経験を通して意欲的に考え、当日はバックヤードを見せてもらったり、店員さんにインタビューしたりしながらしおりいっぱいになったことをメモしてきました。

### ○市内めぐり

10月13日（金）に市内めぐりをしました。生憎の天気でしたが、初めての貸し切りバスに子供たちは大喜びでした。

シマダヤ、拝島大師、昭島市役所を見学しながら、地域で働く人の様子や工夫を調べたり、昭島市の歴史や自然、文化財に触れることで、地域への理解を深めました。



## 学芸会

担当：中村 紀子

11月17日・18日に「学芸会」が行われます。どの学年も配役が決まり、練習に熱がこもってきています。各学年の練習を覗いてみると、カラスがいたり、熊の王様にカメレオンも・・どの学年がどんな劇を披露してくれるのか今から楽しみです。子供たちには、「劇はみんなの力で作り上げるもの。どの役も、どのセリフも、その劇を作っていくうえで大切な役割があること。」を伝えています。学芸会本番では、どの子も役になりきり、生き生きと活躍してくれることでしょう。保護者の皆様には、衣装の準備や子供たちへの励ましの声かけ、体調管理など、ご協力をよろしくお願い致します。



## 学校公開・保護者会・道徳授業地区公開講座

2 学期もそろそろ終わりを迎えます。今回の学校公開は道徳授業地区公開講座です。終了後、保護者会が行われます。学習面、生活面の子どもたちの様子や行事、冬休みのやくそくや過ごし方について等各担任からお話しさせていただきます。

学校公開の詳細につきましては、後日お便りを配布いたしますので、ご確認ください。

11月30日（木）学校公開 5校時 保護者会 1 4 5年生

12月 1日（金）学校公開 5校時 保護者会 2 3 6年生

## 読書旬間

担当：工藤 尚子

読書の秋です。10月16日から27日は秋の読書旬間でした。それに先立ち、11日の集会では、図書委員が新しくなった図書室や読書旬間の取組を紹介しました。新しくできた畳コーナーが人気で、思い思いの座り方で本を楽しむ姿が見られます。

読書旬間中は、様々な活動を行いました。自分のおすすめの本を1冊選び、紹介文や感想を書いて廊下や階段の掲示板に展示しました。「面白そうだな。」「この本を読みたいな。」と互いの本に興味をもち、よい交流の場になりました。また、先生の朝の読み聞かせも行いました。どの先生が読んでくれるかは、当日までのお楽しみです。どの子ども目を輝かせながら、本の世界を楽しんでいました。『人を通して本と出会う』体験が、子供たちの本の世界を豊かに広げ、読書の楽しさを伝えてくれたことでしょう。

## ふれあい月間

生活指導担当 花田 耕仁郎

昭島市では、毎年6月、11月にふれあい月間を実施しています。

玉川小学校では、いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動の未然防止や、その対応にかかる取組の充実を図るために、以下のことについて重点的に取り組んでいきます。

- ・各学級の問題行動への取り組み状況の総点検を行います。
- ・問題行動の早期発見・早期対応、未然防止等につながる「生活に関するアンケート」を実施したり、ふれあいポストを設置したりして、様々な心の悩みについて、全教職員で問題解決にあたります。

ぜひ、ご家庭でもお子様との会話を増やし、お子様の様子を見守って頂ければと思います。

## お知らせ

本校、養護教諭の真田祐子ですが、この度、結婚のため、姓が吉田に変わりました。10月より吉田祐子となりました。

## 青少年フェスティバル

副校長

11月19日（日）に2017青少年フェスティバルが行われます。

今年もKOTORI ホールの前庭に市内各地区委員会の模擬店が出て賑わいます。玉川小学校地区委員会では、例年、ベルギーワッフルとキャラメルポップコーンの模擬店を出店しています。5、6年生の児童のお手伝いを募集し、お店の宣伝や販売等を行ってまいります。詳細につきましては、後日、地区委員会からお手伝い募集のお便りが出されますのでご覧ください。

また、KOTORI ホールでは、ダンスや和太鼓、合唱等の出し物も企画されています。例年玉川小とかかわりのある団体の参加もありますので、とても楽しみです。

## なぜ、11月が「ふれあい月間」なの？

Q 本誌の中面に「ふれあい月間」の趣旨等を掲載しましたが、なぜ11月に実施するのか？

A 一言でいうと、11月は、どの学校でも子供たちの心が不安定になりがちな時期だからです。また、運動会や学芸会などの学校行事が続くなど、疲れがたまる時期でもあります。本校でも10月後半から、体調を崩して欠席する児童が増えたり、なんとなく元気がなかったりする児童も見受けられます。

## 10月24日(火) 全校朝会の校長講話(抜粋) 「弱音を吐いていいんだよ」

(前半は省略) もう一つは、「弱音を吐いていいんだよ」というお話をします。

最近、運動会の疲れが残っていたり、ずっと雨が続けていたり、気候が急に寒くなったりして、体調を崩している子が多いようです。今年度は欠席も毎日数名程度と少なかったのですが、このところ全校で10名前後になる日があります。

また、みなさんの様子を見てみると、何だか元気がなかったり、イライラしていたり、悩んでいたりと、そんな子が多くなってきたような気がします。

先週のスクールカウンセラー便り「おひるね」を読んだでしょうか？ 保護者向けのお便りですが、今月号は、自分がつらかったり、困ったりしたら、いつでも「つらい」とか、「困っている」とか、弱音を言っていていいんだよ、という内容でした。「弱音を吐けることは、真の勇気だと思います」とも言っています。校長先生も本当にそうだと思います。

みなさんの中には、誰かに嫌なことをされても、病気で具合が悪くても、転んでケガをしても、何かつらいことや悩みがあっても、家で困ったことがあっても、弱音を吐いてはいけないと思っている人がいるかもしれません。もちろん、一人で頑張って、自分の力で乗り越えることも大切です。でも、時には頑張らないことも必要です。一人では解決できないことがたくさんあります。大切なことは、まわりの誰かと一緒に解決していくことです。

ですから、困ったときは、勇気を出して弱音を吐いて下さい。スクールカウンセラーの先生が、悩んだり、つらかったりしたときは、3人の人に相談するといっておっしゃっていました。3人に相談すれば、自分の気持ちを分かって、寄り添ってくれる人が必ずいると言えます。担任の先生はもちろん、学校にはたくさんの大人がいます。校長先生でも、スクールカウンセラーでも、お話ししやすい人を3人見つけて、話してみてください。

## スクールカウンセラーへの相談方法 (SCだより4月号より再掲)

## 保護者

## 児童

- ちょっとお話ししたいとき
  - ⇒ 中休みやお昼休み
    - ・ 直接、相談室を訪ねる。
- ゆっくりお話ししたいとき
  - ⇒ 予約をして相談
    - ・ SCに直接声をかける。
    - ・ 担任や養護の先生など  
にお願いします。

- 相談ご希望の方は、以下のいずれかの方法で、予約をお願いします。
- 担任の先生を通して予約する。
  - 副校長先生を通して予約する。
  - 来校してSCに直接予約する。
  - 電話でSCに予約する(学校は共用電話ですがSCまでは匿名でお繋ぎすることもできます)。
  - 校長のふれあいポストを通して予約を依頼する(必ず連絡先を記載→SCから返信します)。

※ その他、学校外の相談機関も数多くあります。裏面のどこへ電話しても、相談内容に合うところを紹介してもらえますので、安心して相談して下さい。

## 悩んだり、困ったりしたときの相談は・・・

### いじめ、不登校、友人関係、発達障害、自傷行為等に関する相談

#### 昭島市いじめ相談ホットライン《いじめ専門電話相談》

平日 9:00～17:00（土日祝、年末年始を除く）

電話 042-543-7633

#### 東京都いじめ相談ホットライン フリーダイヤル

24時間対応 電話 0120-53-8288

#### 東京都教育相談センター

平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～17:00（閉庁日・年末年始を除く）

電話 03-3360-8008

### いじめの問題やその他の子供に関する相談全般

#### 24時間子供SOSダイヤル（全国統一ダイヤル）

24時間対応 電話 0120-0-78310 フリーダイヤル なやみ言おう

### 学校、子育て等、子供に関する相談全般

#### 東京都児童相談センター（よいこに電話相談）

平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～17:00（年末年始を除く）

電話 03-3366-4152 聴覚言語障害相談FAX 03-3366-6036

### いじめ、体罰、虐待等の子供の人権侵害に関する相談

#### 子供の権利擁護専門相談事業（話してみなよー東京子供ネットー）

平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～17:00（年末年始を除く）

電話 0120-874-374 フリーダイヤル はなして みなよ

### 子供の性格や行動、不登校、学校生活、子育て等に関する相談

#### 昭島市教育相談室

平日 9:00～17:00（土日祝、年末年始を除く）

電話 042-541-4445

### 非行、いじめ、不登校、犯罪被害等に関する相談

#### 警視庁少年相談室（ヤング・テレホン・コーナー）

24時間対応 月曜日から金曜日まで（8:30～17:15）は、専門の担当者（心理職及び警察官）が対応、夜間及び土日祝日は宿直の警察官が対応

電話 03-3580-4970

### 子供の行動や心の発達等に関する相談

#### 東京都立小児総合医療センター こころの電話相談室

月～木 9:30～11:30、13:00～16:30（祝、年末年始を除く）

電話 042-312-8119

### 心の健康に関する相談

#### 東京都立多摩総合精神保健福祉センター（こころの電話相談）

電話 042-371-5560

平日 9:00～17:00（土日祝、年末年始を除く）